

8 「エコステ」モデル駅整備



私たちが目指すこと



地球温暖化防止に向けた取組みの1つとして、省エネルギー、再生可能エネルギーなど、さまざまな環境保全技術を駅に導入する取組み「エコステ」モデル駅の整備をすすめています。

「省エネ」「創エネ」の観点から新技術を導入し、地球温暖化の防止に取り組むとともに、エネルギーの多様化を図るなど、ESG経営を実践し持続可能な社会の実現を目指していきます。

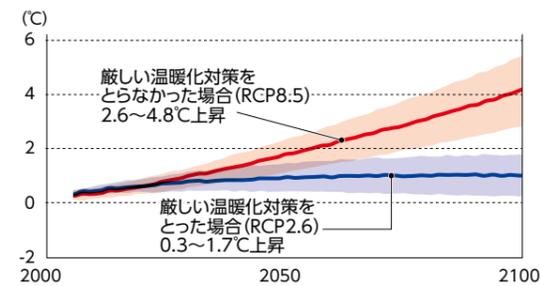
地球温暖化防止に向けて

地球温暖化により世界の平均地上気温は上昇しており、このまま対策をとらなければ海面の上昇や災害の激甚化など、生活・社会・経済・自然環境に大きな影響を及ぼします。

当社では、2015年の「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」において、2020年度以降の地球温暖化対策の新たな国際枠組みとなるパリ協定が採択されたことを踏まえ、2030年度を達成年度とする環境目標を策定しました。

その一環として「エコステ」モデル駅を整備し、地球温暖化防止に取り組んでいます。

[世界平均気温の変化]



注:1986年~2005年平均からの変化(産業革命前と比較する際は0.61℃を加える)
資料:令和元年度版「環境白書」(環境省)より作成

[JR東日本2030年度環境目標]

環境保全活動の分類	項目	2030年度目標
地球温暖化防止への取組み	鉄道事業のエネルギー使用量	25%削減 (2013年度比)
	鉄道事業のCO ₂ 排出量	40%削減 (2013年度比)

「エコステ」モデル駅整備により 平均して約40%のCO₂削減効果

地域の特性を活かしながら環境技術を導入

「エコステ」は[省エネ][創エネ][エコ実感][環境調和]を4つの柱として掲げ、駅の特徴などに合わせた、その駅にふさわしいコンセプトを設定しています。2019年度中に目標としている12駅の整備が完了する予定です。

2018年12月には、「エコステ」モデル駅整備を通じて環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ点が評価され、「平成30年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を受賞しました。

「エコステ」モデル駅整備完了後も、これまで得た知見を活かしながら、環境にやさしい駅のあり方を検討し、環境への取組みをすすめていきます。



2019年度中に整備完了予定

VOICE



地域に愛される「エコステ」をめざして

(株)JR東日本建築設計 石橋 裕之

「エコステ」モデル駅設計に際しては、その駅に適したエコメニューや実現可能な環境技術等の選定が課題となります。これまで、太陽光・熱利用、海風利用、水素エネルギー、再生電力利用等、地域の特性を生かしたエコメニュー導入を実現してきました。

「エコステ」モデル駅がその地域ならではのエコメニューで環境保全に貢献している姿を見ていただくことにより、地域の方々により愛される駅となることを願っています。



ローカル線における「エコステ」モデル駅

東日本旅客鉄道(株)長野支社 設備部建築設備センター 大工原 真也

2020年1月整備完了予定の小海線野辺山駅(長野県)はJR線で最も標高が高い駅で、小規模建物の「エコステ」モデル駅となることから、当社の駅の約4割を占める同規模(乗車人数)の駅への水平展開を見据えたエコメニューを整備しています。

また、冬の寒さ対策として蓄熱塗壁材の使用や、温度差発電を体感できるエコメニューなどを整備するほか、内装の壁には地域で育ったカラマツを使用し、星空をイメージした天井とするなど周辺の美しい景観を表現しています。観光で立ち寄ったお客さまが地域に興味を持ち、エコを実感できる駅づくりを目指していきます。



「前橋」らしい「エコステ」モデル駅の整備にむけて

東日本旅客鉄道(株)高崎支社 高崎建築技術センター 小原 佑菜

2020年3月整備完了予定の両毛線前橋駅(群馬県)は、これまでの「エコステ」に導入されている最先端技術のほか、前橋市の特徴である豊富な地下水を利用した設備を導入します。また、内装には再生ガラス等のエコ建材を使用して、「前橋らしさ」をどのように表現するか関係各所との調整を行い、設計・工事に反映するよう努めました。「水と緑と詩のまち」と謳われ、豊富な地下水と赤城山の豊かな自然を誇る前橋市にふさわしい、地域の皆さまに親しまれる「エコステ」モデル駅の完成に向けて尽力していきます。